

連載コラム〈vol.7〉 社員が語るNDC



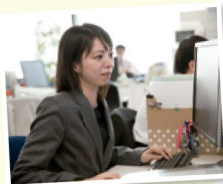
東京五輪に向けた大型案件はやりがいも大きい！ 将来は設計と積算の両方をこなすエキスパートに！

大学で建築を学び、卒業後は住宅メーカーなどへの就職を考えていましたが、就職説明会で当社の説明を聞き、社会を支える消火設備の設計に魅力を感じて入社を決めました。デザインセンターでは、設備の設計と積算を行っており、最初は設計を、現在は商業ビルなどの積算を担当しています。積算には、図面を読み解く力が要求されます。最近では東京五輪に向けた再開発ビルなど、大型案件が増え、緊張しつつも大きな仕

設備・メンテナンス営業統括本部 デザインセンター
芥川 美知佳 (2012年入社)

事に挑むやりがいを感じています。

上司は何でも相談しやすい、希望も通りやすい職場です。お客様と直接やりとりさせてもらったり、女性が行く機会の少ない現場に行かせてもらったり、社外の方々のお話を伺う機会も増え、今まで見えなかった部分が見えてきたことで、仕事の全体像がつかめるようになりました。もっと知識を深めて、将来的には設計と積算を両方担当したいと思います



設計と積算が両方できる数少ない社員として、周囲の期待も大きい。「それを励みにがんばっています」

会社概要

■ 会社概要 (平成27年9月30日現在)

商号	日本ドライケミカル株式会社 (Nippon Dry-Chemical CO., LTD.)
代表者	代表取締役社長 遠山 榮一
設立	昭和30年4月23日
資本金	418百万円
従業員数	444名／グループ総数677名(平成27年3月末日現在)

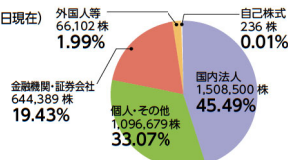
■ 役員体制 (平成27年9月30日現在)

代表取締役社長	遠山 榮一
取締役	長谷 哲一
取締役	浅田 裕沖
取締役	佐藤 寛則
取締役	大場 浩
取締役	櫻井 俊明
監査役(常勤)	内村 滋樹
監査役	後出 大
監査役	渡慶次 憲彦

取締役 櫻井俊明は会社法に定める社外取締役であります。
監査役 後出大ならびに渡慶次憲彦は会社法に定める社外監査役であります。

■ 株式の状況 (平成27年9月30日現在)

発行可能株式総数	5,800,000株
発行済株式総数	3,315,906株
株主数	3,262名



株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
株式会社初田製作所	375,300	11.30
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	276,500	8.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	139,500	4.20
新日本空調株式会社	96,000	2.89
沖電気工業株式会社	89,300	2.68
株式会社吉谷機械製作所	80,300	2.41
日本ドライケミカル取引先持株会	75,700	2.28
株式会社東京エネシス	70,000	2.11
堀江 豊	70,300	2.11
神林 忠弘	63,300	1.92

※ 持株比率は自己株式(236株)を控除して計算しております。

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会：毎年3月31日 期末配当金：毎年3月31日 中間配当金：毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
証券コード	1909
公告の方法	電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。 (http://www.ndc-group.co.jp/) ただし、事故等やむを得ない事由によって電子公告による公告が行えない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社へお願いいたします。
証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先へご連絡ください。

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒163-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	フリーダイヤル 0120-782-031 (平日9:00～17:00/土日祝除く)

NDC 日本ドライケミカル株式会社

〒135-0091
東京都港区台場2-3-1 トレードピアお台場
http://www.ndc-group.co.jp/



この地球の営みすべてを、
守りたい

特集

インターシュッツ2015 出展レポート 世界最大規模の防災機器展示会に初出展

連載コラム vol.7

社員が語るNDC

第64期第2四半期

株主通信

平成27年4月1日～平成27年9月30日

日本ドライケミカル株式会社

証券コード 1909

トップメッセージ



代表取締役社長
遠山 榮一

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平成28年3月期第2四半期におけるわが国経済は、金融緩和策が引き続き維持されるなか、アベノミクスによる円安・株高を背景に、企業、個人の景況感も持ち直しつつあるように見受けられるものの、なお先行き警戒感に残る状況になりました。

当社グループは、引き続き総合防災企業としての立ち位置を強化しつつ、積極的な営業活動を推進してまいりました。また、前期に続き、経営課題である「収益基盤の強化」のために、主要な経営施策として「アライアンスの強化」と「研究開発体制の強化」に取り組んでおります。

研究開発については、平成28年3月に竣工予定の福島新工場建設を中心に、積極的な設備投資を行い独自製品の開発に

注力しております。なかでも、平成27年4月に竣工した千葉工場内の試験研究施設は、各種消火施設の消火・放水実験の際、高さを自在に調整できる昇降式天井を装備しており、さまざまな条件下での消火試験が可能となりました。今後とも、競合他社との差別化を図るため、新たな防災製品、防災システムの開発を進めてまいります。

また、平成27年6月にドイツで行われた世界最大級の防災機器展である「インターシュッツ2015」に出展[※]、多くのビジターの方をお迎えしました。この出展を契機に、将来の本格的な海外展開へとつなげていきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、こうした経営施策の成果にご期待いただき、引き続きお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

※特集ページでもご紹介しております。

「インターシュッツ2015」出展レポート!

当社NDCグループは、2015年6月8日～13日の6日間にわたりドイツで開催された「インターシュッツ2015」に出展いたしました。インターシュッツは、5年ごとに行われる世界最大規模の防災機器の展示会で、今回は世界最大の展示会場・ハノーバー国際見本市会場で開催されました。その概要についてご紹介いたします。



デモをまじえ、日本独自の製品をアピール



「HUMAP」などが好評で、いくつか実機デモンストレーションを行い、高評価をいただきました。デモを行った製品の一つ「SmartXtn」は、消火器を使うと自動的に消防署に通報するという新コンセプトの製品で、2016年春にも市場上市を予定しています。



消火器を使うと消防署へ自動通報! ＜SmartXtnの仕組み＞



消火器の栓を抜くと、栓と本体に取り付けたICタグの読み取り機械が異常を検知、iPhoneやiPadを通じて専用のデータセンターに位置情報などが送信され、消防署に通報されるシステムです。

福島コーナーは地酒の「おもてなし」で大盛況

また、今回の展示会では「福島コーナー」を設けました。福島県知事様、福島市長様からも直々にメッセージをいただき、当社福島新工場のご紹介と共に、福島の安全性、名産品などをパネル展示でPRいたしました。二本松市の酒蔵、大七（だいしち）酒造様にも協賛いただき、樽酒を当社ロゴ入りのお猪口で振る舞い、一時はブースが居酒屋状態となるほどの盛況ぶりでした。福島とのコラボレーションは、今後も続けてまいります。



「福島の地酒は現地の人にも大好評!」

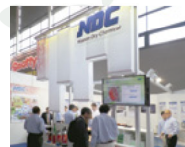


NDCブルーのハッピーは注目度もバツグン



地位が高い欧州の消防業界

今回のインターシュッツには、51か国から約1,500社が出展しました。海外メーカーでは、当社提携先であるTyco社、FireDos社をはじめ、消防設備、消防車輛メーカー等が出展、日本からは初田製作所など計10社が出展いたしました。来場者は約50カ国・約157,000人を数え、消防士など消防関係者の姿が多く見られました。ブースや来場者の雰囲気からは欧米における消防業界の地位の高さがうかがえました。



今後の海外展開に向けて

こうしたスケールの大きな海外展示会への出展は、当社にとって大きなチャレンジであり、転機となりうるものでした。今後は製品を絞り込み、海外諸認証を取得して海外展開していくことで、この展示会のアウトプットを具現化していく考えです。これからも積極的に展示会やイベントへの出展を続けてまいります。



NEWS & TOPICS

ホームページリニューアル

NDCグループ・ウェブサイトのトップページおよび「投資家の皆様へ」のページをリニューアルいたしました。より大きく、見やすいデザインで、お探しの情報が見つけやすくなっています。



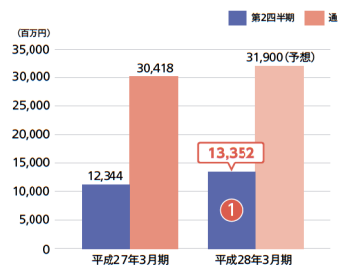
トップページ



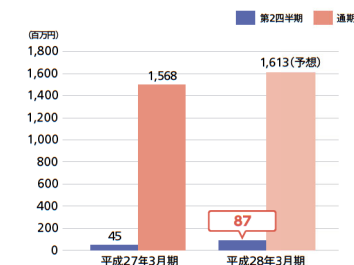
投資家の皆様へ

第2四半期累計期間 連結決算概況

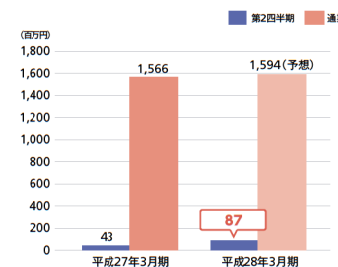
売上高



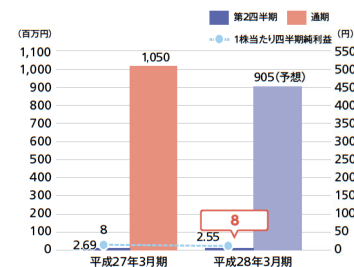
営業利益



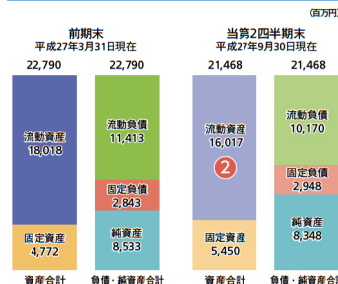
経常利益



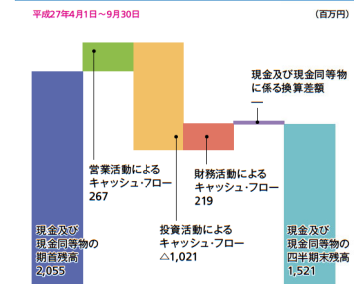
当期純利益・1株当たり四半期純利益



資産の状況



キャッシュ・フローの状況



ポイント解説 ①

【売上高】 防災設備事業において大型商業ビル等の新築案件、リニューアル案件が引き続き旺盛であったこと等により、売上高は前年同期比1,007百万円増加となりました。

ポイント解説 ②

【流動資産】 前期末に増加した売掛債権の回収が進んだこと等により、流動資産合計は前期末比2,000百万円の減少となりました。